

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 19日

|  |                 |                   |                                       |                |      |
|--|-----------------|-------------------|---------------------------------------|----------------|------|
| 所属   | 会計ファイナンス<br>研究科 | 職名                | 教授                                    | 氏名             | 矢田 誠 |
| 研究課題   | 企業法研究           |                   |                                       |                |      |
| 研究キーワード  | 企業法研究           | 当年度計画に対する達成度      | 3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した |                |      |
| 関連するSDGs項目   | 8.働きがいも経済成長も    | 9.産業と技術革新の基盤をつくろう | 10.人や国の不平等をなくそう                       | 12.つくる責任 つかう責任 |      |
| <p>1. 研究成果の概要</p> <p>①企業統治における社外取締役の役割と効用<br/>本テーマに係る研究については、自ら2社にわたり、社外取締役と社外監査役に就任する機会を得、企業における社外取締役や社外監査役の効用や、企業側からの社外取締役や社外監査役の発言等に対する受け止め方を実際に体験すると共に、他社の社外取締役や社外監査役を務める方との交流を通じ、社外取締役の企業の内部統制に対する重要性を見いだすことができた。また、関連する諸論文にも多数触れた。</p> <p>②会社法概説書の執筆<br/>第2節設立までの執筆を終了した。本年度は、さらに執筆を続ける。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>3. 主な経費</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> |                 |                   |                                       |                |      |
| （本文は2ページ以内にまとめること）   |                 |                   |                                       |                |      |